

第13回宮崎大学役員会（戦略会議）議事要旨

日 時 平成18年1月19日（木） 14：40～16：30

場 所 宮崎大学事務局大会議室（事務局棟4階）

委 員 住吉学長、名和理事、碓理事、江藤理事、大谷理事、吉良理事

オブザーバ 水光副学長、谷本副学長、岩切監事、木下監事

列席者 北村経営統括監、川畑企画調整部長、山根財務部長、梶川施設環境部長、橋口学務部長、
金城学術研究協力部長、羽室企画調整課長、西山人事課長、田島財務課長、大園評価課長、外

議 事

1. 任期制について（継続審議）

碓理事から、任期制の導入については前回の役員会で任期制検討WGからの答申を受けて審議願っていたが、来年度には各学部から具体案を示して頂きたいと考えており、大学としてどのような方向で進めていったらよいか審議願いたい旨提案があり、審議の結果、テニユア制度、新規採用者からの導入及び学長管理定員の活用等、もう少し将来を見据えた導入可能なところを絞って、役員会としての案を提案し、人事制度等委員会で再検討することとなった。

2. 平成18年度予算配分に関する提案について

碓理事から、【資料2】により平成18年度の予算配分をする場合において、以下の事項等について財務委員会等へ検討を依頼をしたい旨提案があった。

(1) 教育研究基盤経費でのインセンティブの導入

- ・「研究プロジェクト」や「教育GP」など全ての全学的外部資金獲得への申請及び採択等に対して
- ・公開講座、出前講義への協力
- ・留学生を受け入れた場合等

(2) 博士後期課程（大学院）の学生指導経費の増

(3) 職位（教授と助手）による基盤経費配分の差及び研究成果を出している教員への上乗せ

(4) 教員個人評価結果の反映

- ・特別昇給枠への反映
- ・研究に秀でた教官等への講義負担の軽減等

審議の結果、今後提案事項の各々について、役員会での方針を決めて、財務委員会等に検討を依頼をする事となった。

また、水光副学長から個人評価のシステムの基本構想がまとまりつつあり、今後インセンティブについても本日の議論を踏まえて、人事制度等委員会と連携をとっていききたいとの発言があった。

3. 宮崎大学の給与構造等の見直しについて

企画調整部長から、【資料3】により給与構造の見直しの基本的な方針等について、また、人事課長から給与構造及び退職手当の内容について、財務部長から人件費シミュレーション等について説明があり、審議の結果、原案どおり進めることで了承され、今後過半数代表者等からの意見聴取を行うこととした。

4. 中期計画の変更について

水光副学長から、【資料4】により本学の中期計画の記載事項において、市の道路拡張計画に伴い土地の譲渡に伴う変更及び附属病院の施設・設備の整備に係る記述の変更について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5. 宮崎大学教育研究支援基金について

この件については次回に審議する事となった。

6. 情報化推進に向けての将来構想の策定について

水光副学長から、【資料4】により本学の情報の運用管理等の現状、並びに情報環境の統合と効率化の課題及び組織体制の課題について説明があり、今後、宮崎大学としてどのような情報を、どのような体制で、どのように取り扱っていくのかという情報化推進基本構想を策定する必要があるとの説明があった。

審議の結果、学長から、情報管理室にて情報化推進基本構想を策定するよう要請があった。

報告事項

1. 宮崎大学将来構想（案）について

学長から、1月27日に宮崎大学将来構想特別委員会委員長から宮崎大学将来構想（案）が答申されたとの報告があり、次回この取扱いについて審議したいとの発言があった。

2. 平成18年度政府予算（案）内示について

財務部長から、資料により平成18年度の国立大学法人全体の収支構造及び本学の運営費交付金対象支出予定額等について報告があり、引き続き施設環境部長から施設整備費補助金等実施予定事業についての報告があった。

3. その他

(1) 主要委員会等の審議状況報告

- ・ 碓理事から、認証評価の対応等の検討状況について報告があった。
- ・ 江藤理事から、施設マネジメント委員会の検討状況について報告があった。
- ・ 名和理事から、大学研究委員会、広報戦略室、国際交流推進室及び知財本部の検討状況について報告があった。
- ・ 谷本副学長から、教職大学院設置に向けての検討状況について報告があった。

次回の役員会について

次回の役員会（戦略会議）は、2月2日（木）14時40分からの開催を予定している旨報告があった。